

1 F

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	19	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『心やさしく おだやかに のんびりと 自分らしく』	1	基本方針の中で「尊厳・安心安全に暮らすホームと家族、地域との触れ合いを大切にします」が掲げられている。この事が理念を支えるものだと思う。
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎朝申し送り後に、理念と基本方針の唱和を行っている。	1	理念を常に念頭に入れ入居者の対応に努めている。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・発行する「ウイングたより」に理念を載せている。 ・玄関やフロアの目につく場所に理念を掲げ、来園者にもアピールしている。	1	地域密着になるには、まだまだ時間を要する事だと思いますが、今まで通り施設行事の招待を続けながら施設のアピールを行い、理解を得ていきたいと思っています。そうすることが理念の実践に結びつくと考えています。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・近所へ入居者と一緒に散歩・買い物に出掛けたり、夏祭りで地域の方を招待している。 ・近所の方から、食材を頂いたりすることがある。	1	今後も、隣近所の人との付き合いを密に行い親睦を深めていきたい。
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・子ども会の廃品回収に新聞やダンボールを出したり、夏祭りに自治会や老人会また地域の方を招待している。	1	地域の活動に出来る限り参加を行い、今後も継続して行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・クリスマス会や敬老会、夏祭りに老人会や自治会の方々を招待している。	1	運営推進会議の中でこの地域は独居老人が多くガラスを割って入り救急搬送したことや高齢者が集える場所はないかなどの声を聞き何かできないかと考え今回小規模多機能の開設をしようと考えました。
	3 理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)			自己評価5項目・外部評価4項目	4	
	3 理念を 実践 する ための 制度 の 理解 と 活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・前回の外部評価を基に、個々の反省文を提出してもらい、改善策を話し合い取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・H19年より2~3ヵ月に1回運営推進会議を行い、活動報告・意見交換を行っている。	1	頂いた情報については、行動におこし実施している。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・介護認定の申請・手続きの為窓口に行き、参考資料などがあれば頂いている。 ・地域包括支援センターからの問合せに、状況を伝えている。	1	運営推進会議に出席して頂く他にも情報報告を行うように図っている。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・外部の研修に参加し、資料をレポートと一緒に提出してもらい、休憩室等で閲覧できるようにしている。	1	成年後見制度については福岡市と連携を取りながら活用に至った。職員にも経過をその都度会議等で報告を行い理解を深めてもらった。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待などの新聞記事を切り抜き、全職員に回覧してもらっている。 ・外部の研修に参加してもらい理解を深めてもらっている。	1	入居者が安心・安全に暮らせる様に、内部研修で虐待防止のチェックシートを配布し自分自身の介護を振り返る機会を与えている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	4	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時は家族、利用者、と話し合う時間をとって、不安の解消に努めている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・常に利用者の意見に耳を傾け、苦情、不満があった場合は全職員で話し合いを行い対応している。	1	利用者との話し合いで解決できない場合は、ご家族も交えて最善の方法を考えている。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月の請求書に1ヶ月の状況報告を載せたり、面会時や電話連絡でその都度報告している。 ・金銭管理に関しては、1ヶ月ごとにサインをいただき領収書の返却をしている。	1	ご家族への報告等は今後も継続し行っていきたい。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・相談、苦情受けの窓口を、重要事項説明書とホーム玄関に掲示している。 ・苦情、不満があった場合は、全職員で話し合い対応している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月全体会議とフロア会議を実施し、職員の提案や意見を聞いている。	1	日常的にも意見や提案を聞きながら経営者と管理者は常に施設にとって良い方向に反映させている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・病院受診や業務に合わせて、勤務調整を行っている。	1	入居者の状態・状況に応じて、職員が半日受診もあるが、各フロアのチームワークにて業務に当たっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・管理職はほぼ固定されており、他の職員に関しては、個々の個性に応じて1年を目安に異動を行っている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	5
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・面接に関しては、希望があれば全員対応しており、経験や趣味を生かして働いていただけるよう尊重している。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・会議の中で言葉遣いや接し方、認知症に対する対応などを常に話し合っている。	1	若年認知症の研修にも参加してもらい理解を深めてもらっている。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修の参加、新人研修の参加と段階に応じて行っている。 ・資格を持っていない職員にはヘルパー2級の資格を取得するよう勧め勤務等も配慮している。	1	職員の退職、求人を出しても応募がなく、研修に行かせたくてもなかなか行けないのが現状な為職員が落ちついたら参加して行きたいと思います。
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・グループホーム協議会の勉強会や交流会に参加し、意見交換を行っている。	1	他のグループホームやデイサービスの方と合同で運動会を開催する予定で入居者と職員同士の交流が図れればと思っている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員の体調や精神的変化に応じて話を聞いたり、気分転換のためフロアの移動などを検討している。	1	食事会やレクレーションを2カ月に1回ぐらいのペースで行い気分転換とさせている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・施設のために頑張っている方には、ねぎらいの言葉をかけている。	1	今後も実績のある方には、昇給等により認めていきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	6	
安心と信頼 に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	2	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・事前面談の様式を変更し、見学時や面談時に本人や家族から状況の聞き取りを行うようにしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・問合せの際や面談時に話を聞く様にしている。 ・本人の前で話せない事などは、席を変えて話を聞く様にしている。	1	相手が話しやすい環境作り、話術に今後も努めていきたい。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・問合せや面談の時点で、体験入所を含めたお話しをしている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・まずは見学をしてもらい、ホームの雰囲気を味わってもらっている。・体験入所をして頂きお互い可能かどうかの判断を行っている。	1	入居後にも家族や入居者が不安を抱かれないように密に連絡を行っている。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	4		
係り2 継続これ までの関 係づく りへの支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の能力に応じて、出来る事は一緒に行いながら、会話や表情を見て一緒に笑ったり、喜んだりしている。	1	現在の取り組みを行いながら入居者の希望に沿って行く様努力している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・外出や面会をお願いしたり、受診に関しても出来るだけ家族の付き添いをお願いしている。	1	出来るだけホームに足を運んで頂けるように連絡を取り合い情報の共有を今後も行って行きたい。施設入所が長い家族は面会や行事参加が少なくなっているため今後また関係づくりを行って行きたい。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・本人や家族から話を聞いて情報収集に努め、連絡の取りにくい家族に対しては、FAXやお便りを送って関係維持に努めている。	1	家族に本人との関わりを多く持ってもらうために面会や外出をお願いしている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族に協力していただきながら、関係維持に努めている。	1	本人の希望があれば家族の協力を得て馴染みの場所に連れて行ってもらったり、可能であれば職員で対応を行っている。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・個々の性格や症状に合わせて、席替えや居室移動を行っている。必要に応じて職員が間に入っている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退居先の関係者から連絡があった際に、様子を伺ったり、時として退去先に訪問を行っている	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	13	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入居時やケアプラン作成時にアセスメント（ヒアリングシート・24時間経過シート）を作成し把握に努めている。	1	問題が生じた場合は伝達ノートや日誌などを用いて改善の方向に取り組んでいる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時に本人やご家族に聞き取りを行い、生活歴を記入し、日常の会話の中からも情報を得ている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・1日の過ごし方は個人カルテに記入し、心身の状態もありのままその方の言葉を用いて記入するようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3項目・外部評価 2項目	3		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・日々起こる問題点を常に念頭に置きフロア会議等で意見交換を行い、計画作成を行うようにしている。 ・ご家族や本人にも面会時や電話連絡などで情報交換を行い計画書にもサインを頂いている。	1	歯科・内科等のかかりつけ医とも相談をし、計画書に意見を取り込んでいる。
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・入所時は1ヶ月、2回目以降は3ヶ月でサービス担当者会議を開き計画の変更・見直しを行っている。 ・ADLの低下時や入院等により状態が変化した時は、その都度見直しを行っている。	1	退院時は情報提供書や看護サマリーを参考に計画を立てている。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日ケアプランの項目に沿って評価を行っており(月評価)出来なかった場合は、理由を記入するようにしている。	1	個人カルテにも細かく記入し申し送りにて情報の共有をおこなっている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1項目・外部評価 1項目	1		
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・グループホームのみの経営の為多機能性はないが、通院等による付き添いは要望に応じて行っている。	1	今後小規模多機能を開設予定で交流を図っていきたいと考えている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	8	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・運営推進会議にて地域の方から近隣の情報を教えて頂いている。 ・行政機関と連携を図り、情報を教えてもらっている。	1	3月9月の消防訓練時は実際に消防の方に連絡をし訓練に取り組んでいる。個々の必要性に応じて地域資源を活用している。
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・週3回透析に行かれている方もおり、関係機関と密に連絡を取り情報交換を行っている。他の方に関しても、話し合いをおこなったり、病院受診時や退去時は情報交換を行っている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議への参加依頼や、入居の問合せ等で連絡を取っている。	1	今後も運営推進会議や電話連絡等により交流を深め、支援を必要としている人の為に協力している。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居時にかかりつけ医がある場合は、病状に合わせて受診を行えるようにホームのかかりつけ医からも紹介状を書いて頂き連携をとって頂いている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・認知症の症状に関しては専門医を紹介して頂き、症状によって通院や入院治療を行ってもらっている。	1	認知症の進行に関して、主治医と相談する機会を作り、入居者・家族・職員が安心して生活・支援が出来るようにしている。
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・2週間に1回の往診時の看護師は決まっております。バイタル測定やその人に合った声かけをしてもらっている。	1	訪問看護の導入を検討しているが、実現には至っていないが、看護師とは24時間体制で電話連絡できるようにしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院した際は面会に行き状態の把握に努めている。退院時医師との話し合いも家族了解の元同席したりしている。	1	医師の指導のもと入居者が生活しやすい環境を整えている。
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・かかりつけ医、本人、職員、家族と話し合いを行い少しでも安心できるように 努めている。	1	希望される家族には他の施設も紹介している。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・グループホームでは、医療的面に関して限界があり、かかりつけ医・家族・本人とも話し合い個人のレベルにあった施設への転居を探そうにしている。	1	本人・家族の意向に添えるようかかりつけ医等と相談しながら検討している。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・転居先の関係者と連絡を取り合い、サマリーなどで情報の共有に努めている。	1	転居後も様子を伺いに行ったりしている。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1		その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)	自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	30	
	1	52 外部 評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の記録等は外から見えないようにし、決まった場所に保管している。入居者に対し、些細なことでも本人の尊厳を確保している	1	入居者の隣に座って記録したり、スタッフ間で入居者の事を話しをする際、入居者を傷付けないように気を配りたい
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々に希望の訴えを第一に支援しているが、訴えない入居者に対しては表情等で希望を汲み取り支援している	1	業務の簡素化などで、時間に余裕をもって入居者の暮らしを支援していきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの体調等を考慮し、型にはまった対応ではなく、一人ひとりのペースに合わせて支援している	1	日常の作業を一緒に行うのは難しいが本人のペースを優先に、ゆとりをもって介護にあたっていきたい
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	二ヶ月に一度のペースで訪問理美容にて散髪、顔そりを行っている。男性の入居者の場合は毎朝介助にてヒゲソリを行っている。希望にて行き付けの美容院に行かれている入居者もいる	1	おしゃれへの支援が行き届いておらず、入居者と一緒に行き物に行き、洋服や化粧品などを購入したい
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者が出来る範囲で野菜の皮むきなどはしていただくことはあるが、一緒に調理、盛り付けは、困難である。お膳拭きは出来る入居者に毎食後、交替で協力していただいている	1	食事のメニューは入居者の希望を取り入れたたり、季節ものを献立にいれるようにしている
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	外出した際、購入した、おやつ等は一旦ホームで預かり、おやつ時に提供している。お酒は日常的には難しいが行事の日には提供している	1	外出の機会を増やし希望のおやつを購入する機会を増やしてあげたい
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を作り、排泄パターンの把握に努め支援している	1	なるべくトイレでの排泄を心がけて、介助しているものの、おむつの使用を減らしたり衛生保持に努めたい
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は1階と2階とで曜日を変え、外出、受診などで、入浴出来ない時は翌日に別フロアにて入浴が出来るようにしている	1	入浴時、体調の変化に気を配り、事故の無い様に気をつけたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	車椅子の方が多く、同じ姿勢が続く方には声かけし、臥床休息していただいているが、臥床が困難な方は両足を挙上したりソファへ移乗していただいている	1	日中、体操、リハビリ等で身体を少しでも動かさし、夜間良眠できるように支援している
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分で出来ることはなるべく行っていただくように見守り、入居者に合わせた役割を行ない支援している。(洗濯物たたみとか)	1	今後も引き続き入居者に合わせた支援を行なっていきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理出来るかたはお金の所持を可能にしているが、管理できない入居者は買い物に出かけた時、本人が支払いをするように支援している	1	個々の必要な物を買物に行く際に、入所者も同行し、支払いをされるように支援したい
		63 外部評価28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車椅子の入居者が多いため、散歩や買い物などの外出はほぼ限られた方になっている。天気の良い日は玄関前の花壇にて外気浴や日光浴をしたり、ドライブしたりしている	1	リハビリを兼ねての散歩や買い物同行の回数を増やしていきたい
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の方にも声をかけ、相談にて外出の機会を作ってもらっているが、施設でも、花見、山笠見学、キャナルシティ、ジャスコ等へ出かけている	1	入居者の家族を巻き込んで、入居者、スタッフと参加できる日時、場所を決めて、外出する機会を作りたい
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の家族から入居者へ電話があるときは、取り次ぎし、入居者の希望にて、家族への電話はかけられる様にしている。	1	文章の書ける人は、家族へ手紙を書く機会を作っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族や馴染みの人はいつでも訪問出来る様に開放している。居室にてゆっくり会話出来るようにテーブル等を設置している	1	家族の方には特に面会を促しコミュニケーションをはかれるように支援したい	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束しない上でも危険防止策やケアに取り組んでいる。本人の尊厳を十分配慮し、転倒防止に常に気を配り、可能な限り取り組んでいる。	1	危険防止策、身体拘束に関することを今後も、勉強していきたい	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設の玄関には鍵をかけていないが、居室の入り口に関しては、入居者の自由にしている。	1	不穩や徘徊などで、やむを得ず、危険防止の為に施錠することがあるが、それ以外は開放している	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は所在の把握、様子の確認を行っている。夜間は二時間おきに巡視を行っている。体調不良者にたいしては、こまめに巡視し、こまめに記録し、特変時は対応出来るように心がけている	1	日中でも居室にこもっているような入所者には、飲茶の声かけやレク、体操の参加を促している。体調不良の方は常に様子観察している。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	基本的には自己管理を行なっているが、管理が難しい方については、家族と相談の上、ホームで管理し、本人が必要とした際は、見守りにて使用している。	1	個人の必要に応じて家族と相談しながら保管、管理を行っていききたい。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	施設内、居室内などの環境設備を整え、与薬時は名前、日付を確認している。	1	日頃より地域の人々の協力が得られるように努めていきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時のマニュアルを誰でも見える場所に設置しており、職員全員が救命救急の講習会を受講し、年二回の消防訓練には入居者も参加している。 AEDの設置をしている。	1	事例をあげて処置の方法の勉強会を行って行きたい。 毎朝、 AEDの点検をしている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を入居者もスタッフも全員参加で行っている。市や県からの災害の指示、勧告は全員にわかるように見えるところに掲示している。	1	地域交流をもっと深め、災害時は協力していただけるようにしたい
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族等に説明し、納得をいただいている。また、必要に応じては、家族と話し合っている	1	入居者の一人ひとりが穏やかに事故なく暮らしていけるようにスタッフが細やかな気配りをしていきたい
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の血圧、体温のチェックを実施し異変があれば主治医に連絡、指示をおおぐ。(ホームドクターは24時間対応)スタッフ間にも申し送り、情報の共有化と様子の観察を徹底している	1	急変時は、救急車を手配する
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないように与薬時は日付と名前を確認。薬に関しては、常に新しい処方箋を個人カルテにはさみ、薬の変更時はスタッフ間で申し送り、把握し、体調の変化に気をつけるようにしている	1	きちんと服用したか確認し、バイタル表にて、食事の摂取量とともに与薬確認印にて、管理している
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬だけにたよらず、食物、水分、体操と日常生活でも心がけている。排泄表の確認	1	体操、リハビリによって腸の働きを活発にし、排泄表にて、管理し、時間ごとにトイレ誘導している

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを促し、義歯の方は洗浄している。夜は義歯を預かり、洗浄している。週に一度歯科往診があり、口腔ケア、義歯調整を行っている。	1	口腔ケアの際、異常がないか確認している	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりにあった摂取量に気をつけ、摂取された割合もチェックしている。10時と15時にも飲茶し、水分不足気味の入居者には、日中もペットボトルを居室に置き、水分補給していただいている	1	水分摂取の制限のある入居者の分とし、1日分の水分を別容器にいった、管理している。夜間帯は個々のペットボトルを用意し、飲水していただいている	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを設置している。手洗い、うがいは確実にし、床、手すり、トイレ等の掃除には、毎日、塩素系のハイターを使用し消毒している。	1	感染症予防の講習を受け、内部研修も行っている。常に塩素系ハイターにて消毒するように心がけている。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機にて調理器具、食器を殺菌消毒している。布巾、台拭き、おしぼり、エプロンも毎日ハイターにて殺菌している。	1	冷蔵庫内の野菜等は、入れ換えしながら使用し、毎日、食材の賞味期限の確認を行っている	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、ベンチを設置し、誰でも利用できる空間がある。花壇を作るなど、親しみやすい雰囲気を作っている	1	玄関は施錠せずに開放しているので、自由に出入りできる	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った飾り物や花などを使用し、玄関やフロアを居心地よく演出している。天気によりカーテンを開閉し、自然光を取り込める工夫をしている	1	テレビのボリュームやスタッフ間の会話の声の大きさに気を配り、不快な感じを与えないように気をつけたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	車イスの入居者が多いため、通路を広く確保していると共に、ソファ、テーブル、イス等を各所に置き、自由に過ごして頂けるように配慮している。	1	入居者の所在確認をしっかり行い、事故防止に努める	
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に家族や本人と相談し、以前から使用していた家具や寝具を配置している	1	使い勝手が悪い時は、再度、配置の変更を行う。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床時には、必ず居室の窓を開け、換気を十分に行っている。日中でも天候をみて、換気を行うように努めている。フロア、居室に温度計を置き、エアコン等で、温度調整を行っている	1	換気や消臭剤の使用にて対応している。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	1階フロアは車イスの入居者が多いので、移動しやすいように、通路を広く確保している。 共同の空間と廊下には、手すりがついている	1	手すりが必要になったときは、追加で増設している	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自分の居室やトイレを迷わないように、表札、貼紙にて、対応している。 個人のレベルに合わせて支援している	1	入居者が混乱しないように見守り、支援している	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関外に花壇があり、入居者が水やりしたり出来るようにしている	1	ベランダや玄関、花壇前などに、イスやベンチを設置している	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。